

2020年9月16日(水)第三水曜祈祷会

ルカの福音書24:13～35

「心は内で燃えているか」

序:週の初めの日の明け方早く…(24:1-12)

- ①女たちが墓に来ると、イエスのからだは見当たらなかった
- ②二人の御使いが主のよみがえりを宣言した
- ③彼女たちはイエスのことばを思い出し、急いで弟子たちに報告した
- ④弟子たちは彼女たちの話しを信じなかった

■目がさえぎられていた二人の弟子(24:13-24)

- ①エルサレムからエマオに向かう道すがら
- ②二人が話し合っているところにイエスの方から近づかれる
- ③二人の目はさえぎられていて、イエスだとわからなかった
- ④イエスの質問に、二人は暗い顔をして立ち止まる
- ⑤彼らはイエスに望みをかけていた、女たちの報告に驚いたが、信じられなかった…
- ⑥一番の当惑は、イエスのからだがなくなっていたこと
- ⑦二人の目をさえぎっていたものは何か…

■心の内を燃やされる二人の弟子(24:25-35)

- ①イエスの嘆き → 愚かな者、心の鈍い者、信じられない者たち
- ②イエスは旧約聖書全体から、ご自分のことを説き明かされた → 十字架と復活
- ③目的地に着いた二人の弟子はイエスにとどまってくださいと懇願した
- ④イエスのパンを裂く姿を見て、イエスだと確信した → そして、イエスの姿は見えなくなった
- ⑤イエスが説き明かしていた時、二人の心の内は燃やされていた
- ⑥二人は直ちにエルサレムに戻り、復活の主を証言した
- ⑦二人の心の内はなぜ燃やされていたのか…

まとめ:『心は内で燃えているか』

- ・私たちの心の目はどうしてさえぎられるのか…
- ・私たちの心の内はどうして燃やされるのか…
- ・私たちは心の内を燃やされるとどうなるのか…

『しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。』

(ヨハネの福音書14:26)